

Chapter	大項目	中項目	学習項目
1	脱炭素化の背景	脱炭素・カーボンニュートラルの定義	なぜ今脱炭素なのか 脱炭素・カーボンニュートラルとは
		気候変動問題	温室効果ガス (GreenHouse Gas; GHG) 気候変動とカーボンニュートラルの関係
		国際団体・会議	UNFCCC (国連気候変動枠組条約) COP (国連気候変動枠組条約締約国会議) COP3 京都議定書 COP21 パリ協定 IPCC (気候変動に関する政府間パネル)
2	脱炭素化に向けた動き	グローバルトレンド	SDGs ESG 投資 気候変動に関連した情報開示 主要なイニシアティブ・機関 (TCFD・CDP・SBT・RE100)
		カーボンプライシング	炭素税 排出量取引制度 クレジット制度 (非化石価値取引、J-クレジット制度) 再エネ賦課金 炭素国境調整メカニズム (CBAM) インターナル・カーボンプライシング
		脱炭素化のセオリー	需要の電化 電源の脱炭素化 非電力の脱炭素化
3	世界の動向	世界の動向概観	世界の GHG 排出量 世界のカーボンニュートラル宣言状況
		主要国の動向	主要国の炭素生産性 主要国の削減目標 主要国の気候変動対策
4	日本政府の動向	日本政府の動向	2050 年カーボンニュートラル宣言 グリーン成長戦略 GX 実行会議 GX 実現に向けた基本方針 GX 推進戦略 エネルギー基本計画 クリーンエネルギー戦略 主要な関連法制度の整備 (温対法、省エネ法) 地域脱炭素ロードマップ
5	企業の取組	脱炭素経営の推進	脱炭素経営の全体像 気候関連リスク・機会の把握 コーポレートガバナンス・コードの改訂
		イニシアティブへの対応状況	TCFD・SBT・RE100・CDP
		GHG 排出量の算定	GHG プロトコル サプライチェーン排出量 (Scope1、Scope2、Scope3) と基本的な算定方法 算定事例
		GHG 排出量削減の実行	省エネの推進 再エネ電力を調達する主な方法
		脱炭素ソリューション	脱炭素ソリューションの整理 様々な脱炭素ソリューション
6	脱炭素の技術	電源の脱炭素化	再エネ導入量の各国比較 水力発電 太陽光発電 風力発電 地熱発電 バイオマス発電 原子力発電 火力発電+CCS
		脱炭素化を支える技術	蓄電池 水素・アンモニア バイオマス・代替燃料 バイオ素材 カーボンリサイクル技術 製造プロセスの脱炭素化 (水素還元製鉄、人工光合成)
		ネガティブエミッション技術	ジオエンジニアリング ネガティブエミッション技術の分類・定義 DACCS BECCS 植林・再生林 バイオ炭 ブルーカーボン管理